

寅さん歩 その 20

官公庁の食堂めぐり-26 足立区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 21 番の足立区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

【足立区役所】 足立区中央本町 1-17-1

最寄駅 東武スカイツリー線 梅島駅

足立区は東京 23 区の最北端に位置し、千住宿は江戸四宿の一つ、日光東照宮参拝の道で賑わいました。1932 年(昭和 7 年)千住町、西新井町、梅島町、江北町、舎人村、綾瀬村、東湫江村、伊興村、花畑村、湫江村の南足立郡が東京市足立区となりました。

古利根川、荒川、入間川、渡良瀬川、綾瀬川などが運んだ土砂によって出来たデルタ地帯である。地名の由来の定説はないが、古書に武蔵国足立郡との記述がある。湿地帯なのでアシ(葦)が密生していて「葦立」から「足立」への説が有力とのこと。

寅次郎は王子駅から足立区役所行のバスで行きました。帰りはバスで北千住駅まで出て、日暮里駅から山手線に乗りました。

区役所の建物は北館 4 階、中央館 8 階、南館 14 階があります。



[足立区役所 北館B1食堂]

向かって左端の北館のB1Fにあります。ランチの営業時間は11時～14時です。写真下左は あだちベジタベランチ 500円、写真下右は バランスランチ 500円です。

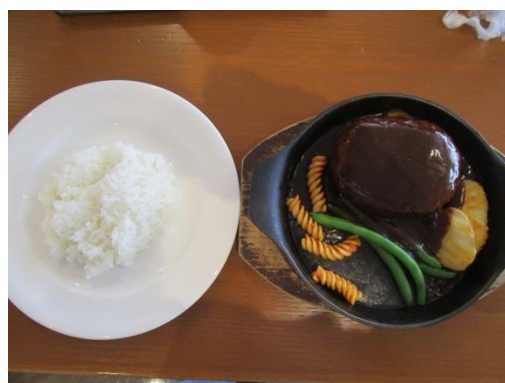
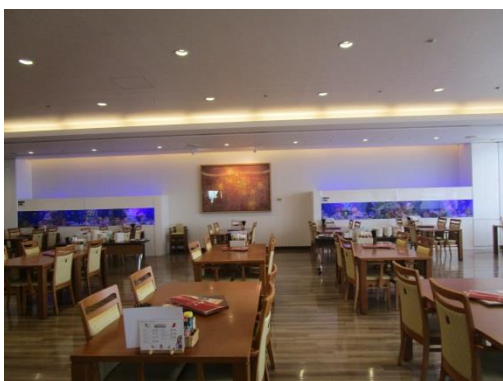


写真左は お弁当 500円です。

他のランチメニューは
カレー 400円～520円、
そば・うどん 300円～460円、
ラーメン 400円～500円です。

[シーフードレストラン メヒコ足立区役所店]

南館14階にあります。室内には水槽があり魚が泳いでいました。営業時間は11時～21時（休日は不定期）で、ランチは11時～15時です。写真下右はランチメニューのデミグラスソースハンバーグ 880円（ライス半分にしてあります）



ランチメニューは 680円（カレー）～2200円（スペシャルランチ）です。

足立区観光マップは「北千住マップ」(北千住駅を中心に隅田川と荒川に挟まれた区域)、「竹の塚マップ」(東武スカイツリー線 竹の塚駅から日暮里・舎人ライナー沿線の区域)を紹介しています。

「寅さん歩」の足立区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京の富士塚めぐり：30、31、健康ご利益めぐり：61、江戸・東京の祭り：85、109
江戸・東京(23区)の百名山：146、東京の桜：167、江戸の閻魔大王：169
東京の学食めぐり：214

足立区の木は「サクラ」、花は「チューリップ」です。



[バーチャルウォーク 途中経過]

2018年(平成30年)10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県を経て愛知県に入りました。2019年(令和元年)9月23日現在、スタートから1330Km地点(岡崎市)を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。今回は人ではありませんが・・・

[寅次郎がウォーキングで出会ったチャヲ嬢]

チャヲ嬢との出会いはFWA事務局長の長津豊さん(官公庁の食堂めぐり-4を参照ください)のお宅でした。

FWA設立当時から長津家の一室をFWA事務局オフィスとしてお借りしていました。

チャヲ嬢はミニコミ誌の飼い主募集記事を見た長津さんご夫妻が応募し、面接を受け合格、1991年(平成3年)から長津家の家族になったそうです。母親はラブラドルの白、父親は不明で庭につないでおいたらいつの間にか妊娠して兄弟は8匹とか。長津家ではお二人の息子さんが独立した後のチャヲ嬢ですからご夫妻に大変かわいがられて、家の中で飼われていました。

写真右は2005年(平成17年)2月FWA例会「湘南の海風川風ウォーク」に参加したチャヲ嬢です。



ゼッケンには2才と記載されています。奥田公園から江ノ島往復を完歩です。寅次郎も幼少の頃、家に泥棒が入って以来、番犬として飼った秋田犬やスピッツの世話をして死んだらお墓を作り、決して犬嫌いではありません。

でも大きな犬に足をかまれたのがトラウマで大きな犬は苦手でした。初めて長津家を訪問した時に犬は外にいるとばかり思っていたのですが、玄関を入り、大きなチャヲ嬢に飛びつかれる歓迎を受けてしまいました。遊んでくれるのかと勘違いして飛びつくのだそうです。

寅次郎の他に長津家に良く出入りしていたFWA最年少スタッフの高橋政行さん（2003年10月に34歳で入会）も大変な犬嫌いで、家の中で逃げ回るのでチャヲ嬢は遊んでくれると勘違いして追いかけて回し、悪循環で大騒ぎでした。この二人を見て、長津ご夫妻は二人が仕事に専念できるように配慮して玄関から事務局の部屋までチャヲ嬢が出入りできないように柵を作ってくださいました。断腸の思いの決断だったろうと推察します。

犬は相手が犬好きかどうかわかるそうですが、チャヲ嬢は更に賢く、二人の名前も覚え、柵の向こうで、「柵を作らせた人だ！」と悲しそうな表情をしていたのが思い出されます。

好きなFWAスタッフも名前がわかるそうです。事務局員の伊藤るみさん（1998年2月入会）は「るみおばさん」、福井正彦さん（官公庁の食堂めぐり-13を参照ください）は「髭のおじさん」で分かったそうです。

バイクで帰る「髭のおじさん」と約2キロ競争して走った逸話があります。長津家の生活は朝早く起こされて朝の散歩、お出かけもどちらかは家に残るというチャヲ嬢中心に回っていました。

いただいた年賀状には家族の一員としてご夫妻・チャヲの名前の連名が印刷されていました。翌年からは寅次郎の出す年賀状の宛名はご夫妻・チャヲの連名としました。

寅次郎、柵のおかげで、飛びつかれることがなくなり、だいぶ慣れてチャヲ嬢を撫でることが出来るようになりましたが、2008年（平成20年）長津さんの事務局長退任で事務局オフィスが市民活動推進センターに移りチャヲ嬢と会うことがなくなりました。柵はすぐに撤去されたことでしょう。

最近のチャヲ嬢の様子を伺うと2019年秋で16歳だそうです。獣医の見たてによると、この犬種としては長寿で人間に換算すると100歳以上とのことで、家の中で静かにしている時間が多いそうです。

大庭に長津家のお墓も用意されたそうなので、きっとご夫妻と一緒に入ることでしょう。その前には喪中のお知らせもあるはずです。

次回は **官公庁の食堂めぐり-27 葛飾区役所** です。

平野 寅次郎 拝